



いいで町

191号

議会だより

躍動 希望がみえるまちへ



3年ぶりに開催「めざみの里まつり」

9月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

9月定例会	畜産農家を町独自支援へ	P2~3
4年度決算	実質公債費率・ 将来負担比率とも増加	P4~5
一般質問	6人が町の姿勢を質す	P10~16
総務文教・産業厚生常任委員会		P17~18
新議員の構成		P19
聞かせてください	皆さんの声	P20

料価格高騰支援策を可決

9月
定例会

一般会計補正予算(第5号)
7,918万円を追加し
総額84億4,829万円に

主な歳入

- ①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,300万円
- ②道の駅いいで社会実証実験補助金 266万円
- ③小規模農地等災害緊急復旧事業費補助金 3,600万円
- ④森林情報緊急整備事業 641万円
- ⑤企業版ふるさと納税地方創生基金 900万円
- ⑥インバウンドコンテンツ造成事業貸付金元金 690万円

主な歳出

- 粗飼料価格高騰に係る補助金(歳入①) 1,317万円
- 航空レーザー測量森林資源解析業務委託料(歳入④) 641万円
- 先端産業教育実践支援に係る補助金(歳入⑤) 765万円
- インバウンドコンテンツ造成事業貸付金(歳入⑥) 690万円
- 防災道の駅社会実証実験に係る負担金(歳入②) 266万円
- 令和4年8月豪雨林道単独災害復旧業務委託料(歳入③) 2,500万円

概要

令和5年9月定例会は、9月5日から15日までの11日間の会期で開催されました。一般質問は6名が、2日間にわたり町政をただしました。

7日の議案審議では条例関係が1件、一般会計補正予算(第5号)を含む各会計補正予算10件について審議し、原案のとおり可決しました。また、令和4年度会計決算認定13案件を一括上程し、決算特別委員会に審査を付託しました。

8日は、産業厚生・総務文教の各常任委員会において所管事務調査を行い、12日(最終日)には、令和4年度会計決算認定13案件を認定、追加提案された一般会計補正予算(第6号)を原案どおり可決し、人事案3件に同意しました。

表紙について 手ノ子小花笠隊

9月2日(土) めざみの里復興祈願祭で11人の踊り手が花笠舞を披露しました。

リーダーの大河原魁君(手ノ子小6年写真右から2人目)は、「多くの人に見てもらって嬉しかった。」と話してくれました。

花笠隊は、8月5日山形市の「山形花笠まつり」にも「手ノ子小学校150周年を祝い隊」として花笠パレードに参加したそうです。この夏、町民のみなさんに大きな勇気と希望を与えてくれる活躍でした。



畜産農家を町独自で応援へ 粗飼

補正予算の主な質問と回答

(記載は発言順)

●社会実証実験とは

舟山議員 観光物産館運営事業において、防災道の駅社会実証実験に係る負担金266万円の内容とは。

●商工観光課長

社会実証実験を行うための、協議会の設立を予定している。あわせて防災セミナー、防災ワークショップ、宿泊避難訓練、防災機器稼働実験などを計画している。

●落雷対策は

屋嶋議員 小学校管理費の330万円は、第二小学校複合火災受信機等の故障修繕で、原因が落雷との分析のようだ。今回の予算には、落雷対策費が含まれるか。

●総務教育課長

今回の予算には対策費は含ま

れていない。現在は他校でも、落雷対策はさ

れていない。

●総務課長

庁舎では、落雷対策はされていない。公共施設の落雷対策は必要との考えから、今後検討していきたい。

●審査会の開催は

高橋(勝)議員 先端産業教育実践支援765万円について、補助金交付にあたり、審査会の開催は。また補助対象経費は。

●商工観光課長

提出書類の審査を行い、不備が無ければ交付決定とし、審査会の開催は予定していない。対象経費は、電気自動車や自動運転等の事業に係る委託料、備品購入、印刷製本、旅費等を想定している。

●指定管理の内容は

遠藤(芳)議員 今後3年間の指定管理を委託する、飯豊町農林水産物処理加工施設管理運営事業90万円について、行っている事業内容は。

●農林振興課長

豆腐の製造販売のために使用している。製造した豆腐は、主に関西方面で販売し、町内産大豆を使用した豆腐は、学校給食への提供を行っている。

●畜産農家への支援は

高橋(亨)議員 畜産農家への粗飼料価格対策の事業内容と支給額は。

●農林振興課長

1年間与える飼料代の値上がり分の10%を支給する。1頭あたり乳用牛で8,000円、繁殖牛で4,000円、肥育牛で2,000円となる。

条例

◆飯豊町定住促進住宅管理条例の一部を改正する条例

令和4年8月3日からの大雨による被災者について、定住促進住宅への入居を継続して認め、家賃、敷金及び駐車場使用料の減免期間を延長(令和6年3月31日まで)するため、本条例の一部改正を提案するものである。

※全議員の賛成で可決

人事

◆選挙管理委員会委員

(任期4年)

長岡 勝

大字中(新任)

草刈 信子

大字添川(新任)

小川 とよ子

大字高峰(新任)

井上 千恵美

大字椿(新任)

◆全議員の選任で可決

◆選挙管理委員会

補充員 (任期4年)

横山 孝

大字小白川(新任)

伊藤 浩一郎

大字小屋(再任)

佐藤 芳栄

大字松原(新任)

小松 弘子

大字萩生(新任)

◆全議員の選任で可決

◆教育委員会委員

(任期4年)

田林 義則

大字中(再任)

※全議員の同意で可決



粗飼料高騰は今後も続くのか

将来負担比率は年々増加

*将来負担比率とは 将来負担する借入金の残高などから貯金や見込まれる収入を除いた額が標準的な収入に対して、どれくらいの割合があるかを示した数値

一般会計決算

歳入 82億5,610万円

歳出 77億2,425万円

令和4年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算は、決算特別委員会において審査の上、全会一致で認定されました。

一般会計決算における財政分析主要指数の推移を見ると、財政力指数0.195、実質収支比率8.1%、経常収支比率93.1%であり、弾力性に乏しい財政状況下にあります。

また、町民総合センター大規模改修事業、中学校大規模改修事業及び新産業集積事業などの実施に伴う地方債残高の増加により、財政健全化を示す健全化判断比率などの指標では、実質公債費比率及び将来負担比率とも年々増加傾向にあり、財政の硬直化を招くことが懸念されます。

過去5年間の公債費の推移

(単位：万円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公債費決算額	6億4128	7億0426	9億1113	8億4815	9億2523
歳出総額に占める割合	9.0	10.1	10.1	11.8	12.0
実質公債費比率	7.2	8.6	10.6	12.0	12.8

実質公債費比率は年々増加し、当年度は12.8%となり昨年度より0.8%増、決算額の対前年度比は、7,708万円増の9.1%となりました。

過去5年間の財政収支の状況

(単位：万円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入総額	74億2088	73億6290	93億5963	76億7421	82億5610
歳出総額	71億3803	69億4770	90億4008	72億0158	77億2425
基金積立金	126	24	4	11	14
基金取り消し額	3億4000	4億7800	1億3100	7800	4億800

令和4年度 決算概要

実質公債費比率及び

*実質公債費比率とは 町が国等から借りている借金返済額を標準的な財政規模で負担する割合を率で表したもの

監査総評、指摘事項

一般会計及び各特別会計の会計全般について、歳入は予定どおり確保され資金繰りは順調であったと思料されます。一般会計からの繰入金金の状況は、前年度比2,268万円増の6億9,322万円となっています。今後各特別会計の一層の自助努力と一般会計繰り出金の削減を強く望みます。

歳出決算では、義務的経費全体で2,765万円増加し前年度比1.1%増、投資的経費は2億7,146万円増加、その他の経費は2億2,356万円増加、前年度比6.6%増加している。

水道事業会計では、漏水対策を推進し、老朽化施設の耐震化や設備の更新を重点的に進められたい。萩生浄水場復旧後も中浄水場の通年稼働を望みます。

過去4年間の各基金残高 基準日：令和5年5月31日現在（単位：万円）

基金の名称	令和元年度 現在高 (R2.5.31)	令和2年度 現在高 (R3.5.31)	令和3年度 現在高 (R4.5.31)	令和4年度 現在高 (R5.5.31)
財政調整基金	4億4308	4億5712	5億1223	4億5969
減債基金	2億7940	1億7234	2億9939	2億9234
地域福祉振興基金	1億6838	8843	8944	9345
公共施設整備基金	4億2858	3億8168	3億2054	3億2564
地域振興基金	5844	4806	4507	4507
いいでめぞみの里応援寄附基金	2035	6035	6037	6037
中小企業緊急災害等対策利子補給基金	—	2500	1871	1280
企業版ふるさと納税地方創生基金	—	0	500	1000
スポーツ振興基金	4389	3740	2841	2842
交通遺児等支援基金	501	501	501	501
小計	14億4713	12億7539	13億8417	13億3279
国民健康保険財政調整基金	1億0391	1億0393	9562	1億0462
介護保険介護給付費準備基金	1億1014	1億3271	1億7272	2億1103
畜産振興基金	5525	5525	5526	5526
森林環境譲与税基金	301	1063	1063	1287
奨学資金貸与基金	6446	6446	6446	5446
土地開発基金	1億7158	1億7161	1億7165	3745
財産区基金（4財産区）	8300	8119	7944	7315
小計	5億9135	6億1978	6億4978	5億4884
総合計	20億3848	18億9517	20億3395	18億8163

前年度より1億5,233万円少ない18億8,163万円で、前年度に比べ7.5%の減です。

財政調整基金は、4億5,969万円で適正額の標準財政規模の10%の額のおおよそ1.14倍です。

令和8年度以降に町償還金のピークを迎えることから、計画的な積立を図ることが必要です。

災害復旧中の 財政規範の考え方は

総務文教
所管分



決算特別委員長

遠藤 芳 昭
えん どう よし あき

令和4年度一般会計、各特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・訪問看護・介護老人保健施設・下水道事業・財産区）および水道事業会計合わせて13件につき、決算特別委員会を設置し審査しました。

決算特別委員長に遠藤芳昭委員を、副委員長に松山和好委員を選出し、9月12日・13日の2日間にわたり、慎重な審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものとしました。

（各委員の質疑内容は要約して記載）

一般会計

財政規範の 考え方は

遠藤（純）委員 災害復旧中における財政規範の考え方は。

総務課長 年度途中の補正予算を組むときに、

財政調整基金が1億円まで減少した時期があった。その後、災害関係の特別交付税3億円〜4億円が入り取り組めた。未だに把握できていない災害もあり、厳しくなっていく財政

状況にあるが、見極めながら予算編成、財政運営に取り組む。



未収金額が 増えた理由は

屋嶋委員 未収金が755万円ある。特に、町税等の未収金額66万8千円、対前年度比で117・5%と増加している。原因と対策は。

税務会計課長 町税のうち固定資産税が約487万円ある。破産した法人が大きな要因

である。対応は、管財人に債権額の交付要求を行い、債権額弁済の通知があった。個人町民税59万円、国民健康保険税128万円の徴収方法として、督促書や催告書の発送、訪問徴収、夜間徴収、それぞれの事情に応じた納付相談、分割相談、所得税還付金や町からの報酬差し押さえの対応をとっている。



災害復旧状況

決算特別 委員会

地区別推進事業の 進捗管理は

地区ごとに異なる
補助金の差は

令和3年から年70万円
の5年間で、350万
円の子算となっている。

高橋(勝)委員 地区別
計画の推進事業にあつ
て、地区ごとの開きが
7万2千円から120
万円となっている。進
捗はどうか、町の
計画管理については、
企画課長 町の総合計
画に合わせ各地区で策
定した、地区別計画を
推進する補助金であり、

町は、予算の管理は行
うが、事業の管理はし
ていない。地区が主体
的に行う事業と理解し
ているので事業の進捗
管理は各地区に任せて
いる。地区協議会長等
に執行率を示しながら、
前向きな取り組みを後
方支援する。

非常備団員の
管理事業は

横山委員 非常備消防
団員管理事業における
食糧費44万577円の
内容は、

総務課長 消防団員の
訓練や演習時の昼食費
と会議費のほか、災害
時における飲料水等の
購入、さらに昨年は8
月に起きた災害も含め
た捜索が2件あり、そ
の際の昼食代の費用と
なっている。

地域おこし協力隊
受け入れ事業は

舟山委員 人材誘致マ
ネジメント業務の委託
先とその状況は、

企画課長 新たな地域
おこし協力隊を募集す
る事業で、委託先は仙
台市にある(株)MAKO
TOWILLとなる。
委託内容は、協力隊募
集、事業計画の作成支
援、町内での体験ツア
ーなどである。

特別会計

(国民健康保険、後期
高齢者医療)
質疑なし

決算特別委員会とは

9月定例会で上程
された決算議案につ
いて、その認定審査
のために設置される
委員会のことです。
決算の審査は、当該
年度の予算の議決に
基づく財務処理の全
体を通して、その執
行が適正、公平かつ
能率的・合理的に行
われたか否かの適否
を審査するものです。
さらには、予算執行
の効果などを判定し、
次年度以降の予算編
成および将来のある
べき行財政の指針と
して反映される重要
な意味を持っています。



災害による行方不明者の捜索



電池バレー関連の用途は

産業厚生
所管分



(株)飯豊電池研究所

**飯豊研究所に
3848万円**

松山委員 (株)飯豊電池研究所に対する既存地元企業の技術力向上に向けた製品開発業務委託費3848万円の用途は。

商工観光課長 町内には自動車産業に関する事業所が多いので、企業同士の共同開発などに委託した。

3848万円

1924万円

**改善センターの
体設計費について**

松山委員 ここ数年間支出している飯豊電池バレー人材育成事業の1924万円はどのように使われたのか。

商工観光課長 令和5年4月に開学する専門職大学の開学費用等を支援したものである。

屋嶋委員 農村環境改善センターの解体を令和5年度の計画から延期となったが、解体設計委託費約450万円は再設計とはならないのか。

農林振興課長 設計費は大きな変更とはならないが、工事の時期に

**開発補助金に
2200万円**

舟山委員 林道飯豊桧枝岐線に毎年5000万円支出しているが、費用負担の増額を国・県に働きかけたのか。

農林振興課長 現在、事業費の50%は国から、4%は県から、町は46%支出している。今後国・県に働きかけていく。

高橋(勝)委員 次世代モビリティシステム開発事業費補助金2200万円の事業内容と実

一般会計

よっては、単価の見直しが必要な場合もあるので、その時は改めて相談したい。

**林道飯豊桧枝岐線の
管理について**

績・成果品は。

商工観光課長 企業版ふるさと納税を資金源として、電動車椅子や自動運転車両の開発などを行なっている。

**フォトログイニ
グ地図作成とは**

横山委員 地域おこし協力隊受け入れ事業の中で、フォトログイニグ地図製作委託8万円の内容は。また、契約期間が冬季間であるのはなぜか。

観光交流室長 オリエンテーリングで使用するような地図で、いくつかのチェックポイント



林道飯豊桧枝岐線の災害状況

決算特別 委員会

これからの 農業支援のあり方は

トがあつてポイントごと
に点数が違う、その
点数を競って遊ぶ、そ
のための地図を作成し
たものである。
冬期間でもすでにあ
る資料を使ったので製
作作業には支障はなか
った。

これからの農業支 援のあり方は

遠藤(純)委員 農業に
対して、合計1億円を
超える補助金
が環境保全に
対して交付さ
れている。ウ
ルグアイラウ
ンド加盟国か
ら日本に対し
て、農家に対
する直接支援
は反対されて
いるため、現
在の支援とな
った。町の考



これからも農業支援を

屋嶋委員 生活習慣病
予防対策データ分析事
業の44万円は、令和3
年度の396万円から
350万円少ないがそ
の理由は。
健康福祉課長 令和3
年度は町全体のデー

生活習慣病予防対策デ ータ分析事業について



データを使って健康講座

分析だったが、令和4
年度は小字ごとの分析
のため少ない執行とな
った。
**介護保険料の未収
金について**
高橋(勝)委員 特別徴
収として年金から天引
きされる介護保険は徴
収率100%である。



納付書で窓口支払い

普通徴収は口座振込
みや窓口支払であるが、
収納率が悪い。不公平
感を無くすためにも普
通徴収の収納率を上げ
るようにするには。
健康福祉課長 近年は
普通収納率のほうも若
干上がって来ましたが、
今後は住民課とも相談
して収納率アップを図
りたい。

特別会計



氏名	質問事項	ページ
1. 議席番号2番 しまぬき ひさお 島貫 寿雄 議員	①電池バレー構想の現状と今後の見込みについて	P11
2. 議席番号7番 まつやま かずよし 松山 和好 議員	①貸工場について、これまでの経過と今後の見通しについて問う	P12
3. 議席番号5番 やしあ まさかず 屋嶋 雅一 議員	①新たなツーリズムによる財源確保を ②義務教育学校の導入後について	P13
4. 議席番号6番 ふなやま まさお 舟山 政男 議員	①町農業と耕作放棄地について	P14
5. 議席番号8番 えんどう よしあき 遠藤 芳昭 議員	①JR米坂線存続に向け、今後必要な対応とは ③閉校となる空き校舎をどう活用するか	P15
6. 議席番号4番 たかはし まさる 高橋 勝 議員	①災害に強いまちづくりへ。安心して暮らせる地域とは ②雇用創出と地域活性化をめざして。第三セクターの今後の行方は	P16

◎一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しており、内容は要約した記事となっています。

町民の皆様 議会の傍聴においでください



議会は、町民生活向上のためのきまりや予算を決める機関です。

町で計画している事業や予算に対し、さらに注文をつけたり、ブレーキをかけるのも、議会の大切な役割です。

町民の皆様には、そのような議会の様子を是非ご覧いただきたいと存じます。「一般質問」はじめ「各委員会の議論」や「予算・決算などの審議」は誰でも傍聴できますので、ぜひお気軽においでください。

次の議会予定は 12月7日(木)～15日(金)です

一般質問

貸工場の公開を望む

町長：町民の見学会を約束する



島貫 寿雄 議員

【町民の大きな関心】

貸工場の一般公開を

質問 現在、「電池バレー構想」に対する町民の関心は高い。

ようやく電動モビリティシステム専門職大学が開学したが、一方令和2年に26億円もかけて完成した貸工場は稼働していない。その多額の投資がされた工場を見てみたいという町民の声がたくさんある。貸工場の一一般公開をするべきではないか。

一般に公開したい

町長 令和5年4月に

電動モビリティシステム専門職大学は開学し多くの方が大学を訪問する機会が増えた。

貸工場についてはいつでも一般公開するようになりたい。

電池バレー構想に対する町民集会对する

質問 「電池バレー構想」に対する議会特別委員会の報告書が出たが、この事業に不安を持つ町民に対する丁寧な説明は足りていないと思われる。「電池バレー構想」について、町民集会を開き、説明して欲しいという声にどう応えるか。

住民説明会が必要があれば何度でも開く

町長 電池バレー構想については、町民全体にご理解いただけるよう丁寧な説明を心がけている。今後も町民の皆様には、あらゆる場で、そのようにしていきたい。言わば、長岡藩「米百俵」の精神で、今こそ、その精神をよみがえらせましょうと、

皆様に訴えたいと思う。

【電池バレーの行方】

電池バレー構想の成否の判断時期は

質問 町がこの事業に

投じた約41億4100万円は、今年の町の一般会計予算80億6900万円の約半分、総予算109億8900万円の約40%である。大災害に見舞われた

米坂線の復旧費86億円の約半分と考えると相応な額である。多額の税金を投入しているこの事業は、どの段階で花が開いたと言えるのか。

この緊急時、未来に向けた財源確保が必要な時期である。この事業についての成否の判断時期はいつなのか。

花が開く時期は必ず来ると約束する

町長 現在、貸工場には数社の引き合いがあり、あらゆる交渉が続けている。花が咲く時期は必ず来ると約束する。任期中に必ずやこの事業を成功させる。民意を大事に常に有権者の声に耳を傾ける。

(本人執筆)



令和3年11月議会の貸工場調査時 内部公開を希望する町民は多い

貸工場に早期決着を

町長：現状どおり誘致活動を進める



松山和好議員

【貸工場】

貸工場が建設に至った経緯は

質問 私はこの電池パ
レー構想そのものに当
初から一貫して反対し
てきた。すべての話に
根拠がないからである。

3年前に完成してい
ながら、今なお引き取
り手がいないという貸
工場。いったいどこか
らの指示、誰からの指
示によつて建設したの
か。

セパレータデザイン社
の事業を想定して建設

町長 セパレータデザ
イン社が使用すること
を想定して貸工場を建
設したが、設計は山形
大学の副学長を中心と

するスタッフによるも
のである。



借り手を待つ貸工場

貸工場の件は訴訟す
べき案件ではないか

質問 貸工場はセパレ
ータデザイン社の要望
に応じて工場を建てた
しかし実際には、完成
しても引き取ってもら
えず借り手募集をして
いる。

このことはセパレー
タデザイン社に対して
訴訟すべき案件ではな
いのか。

専門職大学は、大学

設立を希望している赤
門学院に対して、3億
5千万円を補助し土地
や実験棟を無償で貸し
ている。さらに大学の
開学準備作業や生徒募
集もしているようであ
る。



学生3人専門職大学

貸工場については
争うつもりはない

町長 争うつもりはな
い。現在もセパレータ
デザイン社・山形県・
山形銀行に企業誘致を
依頼している。

争うための訴訟で
はない

質問 争うための訴訟
ではなく、いわば責任

範囲を明確にするため
の手續きである。法律
的には「口約束」であ
っても立派に「契約成
立」となる。

このままでは借金は
すべて町民の負担にな
る。「責任を持つ」とい
うことは金銭的負担を
受け持つということだ
である。

年度内に企業誘致
を進める

町長 現在数社と交渉
中であり、いろいろな
ルートで年度内に誘致
する予定である。

図面の電子データ
の公開を

質問 私のところにも
貸工場について質問が
来ている。過日、貸工
場の内部を視察したが、
肝心の床下や天井裏は
見ることができなかつ
た。

そこで2つの事を要望
したい。

1つは簡単に見学で
きるようにすること。
2つ目は、図面の電子
データを公開すること。
工場の仕上げ材よりも
部材の断面二次モーメ
ントや床の耐圧や共振
のほうが大切である。

データは公開する

商工観光課長 貸工場
は希望者だれでも見学
できるようにする。図
面の電子データも公開
するようにする。



貸工場の内部

(本人執筆)

一般質問

新たなツーリズムによる財源の確保を 町長：財源確保の視点で観光振興に取り組む

*ツーリズムとは：一般的に観光事業や旅行業、または観光旅行のことをいう



屋嶋雅一 議員

【観光振興】

新たなツーリズムによる財源の確保を

質問 現在、町の課題の一つに財源の確保があげられる。町には多くの観光資源があり、こうした資源を活用した新たなツーリズムによつて、観光消費額を拡大し、間接的に財源の確保に繋がられないか。

既存の観光資源の新たな魅力を引き出す

町長 既存の観光資源については、訪れる時期や時間を変えることで新たな魅力を引き出すことや、学びや健康、手軽さなどの要素を付加して旅行商品化することで、町の賑わい創

出のみならず、観光に関わる方々の所得向上による税収増など、間接的な財源確保の視点を持って観光振興に取り組む。また、お客様がそれぞれ希望や予定に合わせて工程を組んでいただけるよう、情報更新に心掛け発信に努める。



幻想的な水没林のライトアップ

点在する観光スポットを繋げた観光発掘を

質問

現在の観光スポットは点在しているため、その場の観光で終わってしまう。新たな観光スポットの発掘により、点在するスポットを繋げることで、一日滞在してもらええる観光コースや宿泊しての観光に繋げることができ。また、体験型観光や観光商品の開発などの企画を含め、多様な企画が必要では。

観光スポットを繋げることは効果的

町長 点在する観光スポットや立ち寄り施設を繋げること、新たな観光資源の発掘や観光商品の開発は非常に効果的と考える。スポットを繋げることで、道中で飲食や買い物に繋がり効果が期待できる。



添川の水芭蕉群

二次交通の活用を期待

質問

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で、ICTを活用した二次交通の整備とあるが、専門職大学による開発か。二次交通の開発による観光や買い物支援などの活用に期待する。

実証実験の場面で町民の参画を願う

町長 大学では、電動自動運転車両の開発のため準備を進めている。

実用化になれば、移動弱者の支援、買い物支援、観光での二次交通の手段として活用できる。大学は、本町にとって貴重な資源である。実証実験の場面では、多くの町民に参画を願う。

【義務教育学校】

校舎建設は慎重に

質問

令和8年度施設分離型でスタートし、最終的に、1年生〜4年生までの校舎を現中学校の傍に建設の予定としている。少子化も考え、建設は慎重に。

まだ白紙の状態

教育長 義務教育学校は施設一体型が良さを出発点である。令和15年度には、全ての学年が1クラスになる予想はしている。また検討の段階で、白紙の状態である。(本人執筆)

いいで町の農業について

町長：地域計画策定に向け準備中



舟山政男 議員

農家の抱えている現状課題については

質問 農家は米価低迷、資材高騰、高齢化、20年後の基幹的農業従事者が今の四分の一と国は試算している、後継者のことについては。

稼げる農業と経営体の円滑な形象が必要

町長 町の農業経営者は65歳以上が61%を占めている。将来的な農地の受け手がいなくなるのが危惧される。農業従事者の減少が進み農業を維持するには、稼げる農業の実現と新規就農者の確保・定着とともに経営の円滑な継承が必要と考える。

地域計画の策定は

質問 様々な各層を交えてアイデアを出し合う地域計画策定でのワークショップの開催は。

新しい共助組織の創造も視野に検討

町長 「人・農地プラン」が法定化され市町村が地域計画を策定する。計画では、10年後、農地利用の姿を1筆ごとの地図に示す「目標地図」を作ることになる。その中では、災害復旧後の農地利用、今後の農地の借り手、認定農業者はもとより副業的な経営体、担い手の育成・確保、遊休農地・耕作放棄地の活用等について女性の方を

含めて話し合う準備を進めている。

耕作放棄地について

質問 耕作放棄地は中山間地域に限られたことではない。屋敷林周辺にも起きる可能性がある。田畑が荒れるのみならず獣たちの住みかとなり、住民に危害が及ぶ恐れがあることについては。

耕作放棄地を発生させない

町長 耕作放棄地をどのように生産可能にするか、所得向上につながるか、その方法はあるか。その方法は必ずあると思っている。これまでの化学肥料の使用のみならず、地域の有効資源としての堆肥を活用するなど、国が勧める農業革命、新しい農業システムへの転換で

あると思っている。

国に理解を求めることについては

質問 農業生産者が大変な状況にあることを国に伝えて理解を求めるとは。

何度も伝えている

副町長 県内の副町長・副村長の研修がある。そこで農水省の官僚と意見交換する場があり、

町の諸問題を訴えている。7月12日に東北農政局が来庁されて粗放的農地または、優良の農地などに区分けするなどを行い、最適土地利用総合対策を活用し地域計画と合わせて事業されてはと話があったので、東北農政局と話し合いながら事業を進める。

(本人執筆)



(耕作中の農地)



(耕作放棄地となった同地)

※最適土地利用総合対策（農山漁村振興交付金）地域ぐるみの話し合いにより、優良的農地、粗放的農地を区分し土地利用構想図を作成する。国では活動費や諸整備費を支援する制度

一般質問

米坂線存続に町民一丸で

町長：多くの声を集めJR・国・県に届ける



遠藤 芳昭 議員

【JR米坂線】

米坂線不通で1年
不便な生活が続く

【質問】 災害から1年が経過した。町民は不便な生活が続いているが、町はどのような対応をしているのか。

他自治体と連携し
要望活動に

町長 県・沿線自治体で組織している「米坂線整備促進期成同盟会」の総会で、今後連携して復旧のための要望活動を行うこととした。

多くの利用者
観光客、高齢者
高校生や若い人

たちにとって米坂線はなくてはならない。復興にむけた取り組みを行なっていく。

署名活動はじまる
町も存続運動を

【質問】 飯豊町と川西町では若者が中心となつて米坂線存続のための署名活動が始まった。「署名活動」の他に「町

民大会」や「復興呼びかけパンフ」や「新聞PR」「のぼり旗」などの存続運動が必要ではないか。

沿線で連携し活動

米坂線沿線自治体の首長と連携し、復旧に向け取り組みたい。JR利用促進や沿線の地域活性化のため、住民の皆さんが復興運動に参加いただければ、予算化も含めて検討したい。



めざまの里まつり会場

【空き校舎の活用】

空き校舎は残すのか

【質問】 義務教育学校を開校するため、「義務教育学校開校準備委員会」が設置され、空き校舎の利活用を考える担当部会もある。空き校舎は残すことを前提と理解しているか。

活用を前提として
検討している

町長 当面は空き校舎とせず、何らかに活用するために部会や教育委員会に検討してもら

空き校舎活用検討
の内容

【質問】 閉校になるまでの検討スケジュールと空き校舎活用のテーマや条件はあるのか。

7年1月まで
提案をまとめる

教育長 地域の声を聞いて、令和7年1月まで空き校舎活用の方向性を決めたい。その後、教育委員会や町長が判断する。負の財産にならないように、活用方法を検討していく。

(本人執筆)



開校準備委員会だより

一般質問

浸水マップ全戸配布。次は浸水地域を減らす方策を

町長：県や関係機関と引き続き協議を行う



高橋 勝 議員
たか はし まさひろ

「災害に強いまちづくりへ。安心して暮らせる地域とは」

次は浸水地域を減らす方策を

関係機関と引き続き協議する

町長 各戸に「浸水マップ」が配布される際に、活用方法について周知がされていないか

質問 「浸水マップ」が全戸配布された。添付資料もなく、配布だけで有効に活用されるか心配している。またマップで示された浸水地域を減らす方策が今後必要で、排水路の機能強化は必須。今後の取り組みについて伺う。

再質問 4年度には、豪雨災害調査研究チームが、報告書を作成している。西山山林が中心の調査となっているが、住宅半壊件数の分析から、南側山林（東部地区）の調査が必要ではないか。

町長 優先順位として水源となる西山中心の調査となった。今後は南側山林も含めた全体像の調査を行っていく。

「災害が起きない山をつくる」ことを提案

新たな林業従事者の確保も検討

米坂線復旧から考える町の活性化策は

質問 手入れの行き届いた健全な山林をつくることで「山林の保水力を回復」させる。そのため、森林環境譲与税を活用しての林業支援や、地域おこし協力隊で林業従事者を確保し、山林の維持管理を行うことを提案する。

町長 被災地周辺の山林は、水源涵養機能や表層崩壊防止機能が低下していると危惧される。新たな林業従事者の確保も検討し、森林整備に取り組んでいく。

質問 「米坂線を地域の足として利用し、さらに町の活性化にどう結び付け、利用促進に繋げるか」の提案活動が必要ではないか。

多様な団体と連携した取り組みが必要



被害を受けて斜面が露出した山林

町長 被災地周辺の山林は、水源涵養機能や表層崩壊防止機能が低下していると危惧される。新たな林業従事者の確保も検討し、森林整備に取り組んでいく。

町長 日常的な利用とあわせて、町の活性化に結びつける活動は重要となる。今後は多様な団体と連携し、復旧に向けた取り組みを進める必要があると考える。

他の質問

※「第3セクターの行方」

地域振興公社からアクションプランを9月定例会中に提出予定と答弁。

(本人執筆)

町消防団が総理大臣表彰

昨年豪雨災害対応評価され

総務文教常任委員会

各課からの報告

◆消防団総理大臣表彰

昨年8月3日の消防団の災害出動に対して「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した。

(総務課)

◆固定資産税の減免

昨年の豪雨災害を受けた世帯に対する固定資産税の減免は、小白川地内54筆、手ノ子地内4筆、萩生地内15筆の計73筆で10分の8以上で対象になっている。

(税務会計課)

◆日本で最も美しい村

「日本で最も美しい村」連合の15年目審査において「A」判定の評価を得た。

(企画課)

◆秋の交通安全運動

運動の期間は、9月21日～9月30日となっている。

(住民課)

◆マイナンバーカード

本町のマイナンバーカードの申請件数は8月27日現在、5735枚、交付率は全人口の87・83%となっている。

(住民課)

◆こども県展

第65回山形県こども絵画展(こども県展)において、本町からは奨励賞、入選に37名の方が選ばれた。

(教育総務課)

◆通園・通学バス

園児バス・スクールバス7台に置き去り防止装置の設置を、10月末まで完了予定。

(教育総務課)

●里山文化とは

高橋(勝)委員 日本で最も美しい村に言う里山文化には、「中津川の菅笠」は含まれているか。

企画課長

中津川の特産品である菅笠、宇津沢かぼちやも含まれる。

●登記義務化の周知は

屋嶋委員 令和6年4月から、不動産等の相続登記の義務化に伴って、町として町民に喚起をしているか。

税務会計課長

役場内にポスターを掲示したり、手続きに來られた方に説明を行い対応していく。

質問と答弁

企画課長

「日本で最も美しい村」連合の15年目審査で「A」判定の評価を頂いた。

町の景観を守るためにも、計画、条例の策定に努めていきたい。

●公共空き家の対応は

菅野委員 中津川旧小屋分校の対応はどうするのか。

総務課長

NPO法人から昨年末に返却された。強風で屋根の破損等があり、今後は地区の意見を聞き対応したい。

●第二小の落雷被害は

島貫委員 第二小学校の防犯装置の故障は。

教育総務課長

落雷被害によるものと思われる防犯ブザーの故障があり、臨時休校の措置

を取った。緊急メールにより保護者に配信し、無事に対応した。

●椿団地の契約状況は
高橋(亨)委員 現在の販売状況は。

企画課長 21区画の中で7区画が契約済みで、うち6区画は建設済みである。引き続き販売につなげるようにPRに努める。



住宅建設がすすむ椿団地

災害復旧率は年度内に 74.7%予定

産業厚生常任委員会

各課からの報告

◆災害復旧事業状況

昨年8月災害の建設室所管分について39箇所
の復旧事業は、完了は8箇所、施工中14箇所、今後更に7箇所の発注を行い、74.7%の復旧を予定している。上下水道所管分、5箇所中2箇所は昨年度完了、3箇所施工中である。下水道施設は1箇所
所で完了している。

(地域整備課)

◆今年度の作付け状況

主食用米1051(△20)で前年度並み、加工米55(+8)、飼料用米101(△17)、WCS106(△7)、輸出用米16(+2)、備蓄米25(△5.8)アスパラガスは13.6(△5.8)となっている。単位haカコ内は対前年比。(農林振興課)

◆非課税世帯物価高騰緊急支援給付事業

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税603世帯に対し1世帯当たり3万円を給付する事業である。

申請のない58世帯に対し、11月15日期限までに確認書の通知、及び電話、訪問による催促をしていく。

(健康福祉課)

◆中津川診療所におけるオンライン診療について

9月11日からオンライン診療が開始される。毎月第一月曜の午前中が診療日となる。中津川地区における新たな医療体制の整備を図ることを目的とする。(国民健康保険診療所)

●災害復旧工事における一体施工とは

遠藤(芳)委員 県が施工する萩生川、小白川の河川工事に合わせ町が一体施工するとは。

建設室長 町道の橋工事において、県が発注する護岸工事に組み込んで一体的に施工するものである。工事費用は、負担金として支拂う。

●オンライン診療における薬の担当は

菅野委員 薬の処方、調剤薬局に相談すればその日のうちに渡すことができるか。

診療所事務長 中津川オンライン診療について、9月11日(月)から令和6年3月末まで実証実験が行われる。

質問と答弁

効果は。

月曜日午前中のオンライン診療を受け、水曜日に薬が出る。薬はドライバーがお届けする。診療当日のうちに薬が必要なときは、調剤薬局に行けば受け取れる。

●今年度の不作付面積と生産目安

高橋(亨)委員 今年度の不作付面積と生産目安はどれくらいか。

農林振興課長 災害で作付けできなかった面積は48haあり、主食用米の作付けは、当初目安1089haが1051haとなっている。

●しらすぎ荘の今後の事業計画について

松山委員 計画書で今後バイオマスを使う

観光交流室長 過年度の安い灯油の単価料金を現在の高い単価料金に変換した差額を、熱量のみ購入するバイオマスにすることで、年間240万円の削減を見込んでいる。

●コロナワクチン接種の副反応報告は

島貴委員 ワクチン接種の重篤な副反応の報告は。

健康福祉課長 2件把握している。1件は手のしびれ、他は接種との因果関係は不明であるが免疫不全反応が出て入院されている。この件は副反応の審査を国に申請する。

新たなスタート

がんばります 力を出し合い 住みよい町に



(後列)

遠藤 純雄 議員
高橋 勝 議員
島貫 寿雄 議員
横山 清彦 議員
松山 和好 議員

(前列)

遠藤 芳昭 議員
高橋 亨一 議員
菅野富士雄 議長
屋嶋 雅一 副議長
舟山 政男 議員

ごあいさつ

議長 菅野 富士雄

7月の議会議員選挙により、新たな議会体制となり、不肖私が引き続き議長の重席を担わせていただくことになりました。町民の皆様への負託に応えるべく精一杯努めてまいります。悟であります。

これまでコロナウイルス感染症や豪雨災害によって、諸問題への対応や、将来のあるべき町の姿などを十分に議論できませんでした。今、人口減少や米坂線の運休など、厳しい環境にありますが、議員が丸となった活動を展開し、町民生活の向上に努めてまいります。

今後ともご指導賜りますようお願いいたします。

飯豊町議会の新体制

議長 菅野富士雄	副議長 屋嶋 雅一	監査委員 高橋 亨一	議会運営常任委員会 委員長 高橋 勝 副委員長 屋嶋 雅一	委員 舟山 政男 遠藤 純雄	総務文教常任委員会 委員長 遠藤 純雄 副委員長 高橋 勝 委員 菅野富士雄 高橋 亨一 屋嶋 雅一 島貫 寿雄 横山 清彦	産業厚生常任委員会 委員長 舟山 政男 副委員長 松山 和好 委員 菅野富士雄 高橋 亨一 遠藤 芳昭 島貫 寿雄 遠藤 純雄	広報公聴常任委員会 委員長 遠藤 芳昭 副委員長 屋嶋 雅一 委員 舟山 政男 松山 和好 高橋 勝 横山 清彦	置賜広域 事務組合議会 菅野富士雄 屋嶋 雅一 高橋 勝	置賜広域病院 企業団議会 菅野富士雄 舟山 政男 遠藤 芳昭	西置賜行政組合議会 島貫 寿雄 遠藤 純雄 横山 清彦
-------------	--------------	---------------	-------------------------------------	----------------------	---	--	--	--	--	--------------------------------------



聞かせてくださいみなさんの声

町議会では、これまでも「町民との意見交換会」を開催して参りましたが、今年度から、「意見交換会」の他に、議員が出かけて皆さんの活動内容やご意見をお聞きする「聞かせてくださいあなたの声を」の取組を行うことにしました。

是非、町民の皆さんの声をお聞かせください。

町議会との意見交換会

内容はこれまでどおり、町内の各団体やグループで議員（議会）との意見交換会です。町の現状や将来にむけたまちづくりについて、話し合いを行うものです。

- 町内に所在する団体やグループ
- 参加人数は概ね10名程度
- 自治会や部落等の役員会
- サークル・女子会・青年会
- 職場 等々

町民と語るまちづくり活動

聞かせてください
あなたの声を

■議員が小グループに分かれてお伺いしますので、その際はよろしく願いいたします。

お伺いしたい団体

- 町内で活動している団体や組織
- 趣味のサークル
- 地域づくり団体や組織 等

11月30日(木)「子ども議会」開催

子どもたちに、町や地域づくりに積極的に参加する気持ちを育てることを目的として、子どもたちによる議会が開催されます。

子ども議会も、本議会と同じく一般質問形式で行われ各小中学校代表の子ども議員が、まちづくりに対する質問や提案を行います。



「女性との懇談会」準備中

本年2月に開催され、多くの参加をいただき、一般質問に結びつけたご意見もあり、本年度も実施することといたしました。名称や内容はこれから検討することになります。多くの参加を呼び掛けていく予定です。

申し込み・お問い合わせ 飯豊町議会事務局 0238-87-0527

発行責任者	菅野富士雄
議長	
発行	
委員	遠藤 芳昭
副委員長	屋嶋 雅一
委員	舟山 政男
	松山 和好
	高橋 和勝
	横山 清彦

記録的な猛暑が続いた今年の夏でしたが、ようやく秋の気配も色濃くなってきました。

近年はコロナウイルス感染と豪雨災害で、多くの事業や活動が停滞していましたが、「未来カフェマルシェ」や3年ぶりに「めざみの里(復興)祭」が開催され、多くの人で賑いました。町民生活によりやく活気が戻りはじめていることを実感しました。

(遠藤記)

編集後記